

①利用者様に寄り添つた看護を学びたいと思ったからです。近い存在として一人でも多くの方が笑顔で生活できるような環境作りをしていけたら幸いです。

②コロナ禍の中で出かけることができなくなつてしましましたが、音樂を聴いたりドライブしたりと気分転換を図っています。

③まだまだわからないことが多いのでも、少しづつ慣れていたらと思います。



橋本 由里子
看護室

新入職員のご紹介です。
聞いてみたいことはいろいろあります
が、今回は…
①入職のきっかけ
②気分転換の方法
③これからチャレンジしたいことについて、聞いてみました！



①約一年間はパートとして勤務していました。その後、職員として働くお話をいただいて、頑張つてみよう決意しました。

②ゲーム、スポーツ観戦をすることです。特に野球が好きで、プロ野球をよく観ています。

③調理は未経験なので、いろいろなメニューの調理方法を早く覚えられるようになりたいです。また、いずれは調理師免許を取得したいと思っています。



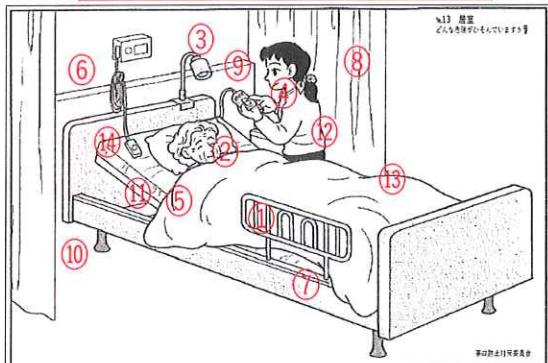
黒山 昌紀
給食室

①息子が小学校へ入学することを機に、親である私も新しいことに挑戦しようと思いました。
②撮りためたドラマを観ること。
③日々勉強！ひとつでも多く出来る事を増やし気付ける力をつけて、三年後に介護福祉士の試験を受けたいです。『いつも元気！』をモットーに頑張ります。よろしくお願ひ致します。



八代 襟香
介護室

気づき



日々の業務の中で、危険の気づきはとても重要な要素で、毎月ヒヤリ・ハット報告書（気づきレポート）として集計、発表しています。

3K（気づく・考える・行動する）気づきから行動することで、改善し事故を未然に防ぐ取り組みを行っています。職員一人ひとりの危険予知の感度をより高めるため、危険予知訓練（KYT）、イラストを見てどんな危険がひそんでいるか、4ラウンド法に沿って危険要因とされる事故を記入し対応策、行動目標を立てます。

気づきの感性を高め、「危ないかもしれない」といった危険を予知する能力・要因の分析力を高め、職員一丸となって事故防止に取り組んでいます。

危険予知訓練シート(No.13)居室 集計結果

	12名	10名	13名	計
階層	2階	3階	4階	
1 ベッド柵が1本しかなく転落の危険	12	12	16	40
2 ナースコールが手元にない	11	2	10	23
3 ベッドライトの位置 頭をぶつける 落下の恐れ	8	6	6	20
4 介助者が利用者を見ずにリモコンを操作	4	5	5	14
5 布団をはがさずにベッド操作をしているので手足を挟む危険	3	5	6	14
6 ナースコールの線が長い首に巻く引っ張る危険	1	3	5	9
7 ベッドが高い ADLによるが低床ベッドでないと危険	2	2	3	7
8 カーテンが半分閉まっている プライバシー	5	1	1	7
9 ベッドリモコン誤操作 リモコンは足元側が良い	6	1	0	7
10 ベッドにキャスターがついていない 移動ができない	2	2	1	5
11 ギャッジアップの際 枕の位置が悪く窒息の可能性	1	2	1	4
12 介助者がベッドに座ってリモコン操作	1	1	0	2
13 ギャッジアップの角度が大きくずり落ちる 下肢側を上げていない	0	1	1	2
14 寝返り時ナースコールにぶつける	1	0	1	2
	57	43	56	156